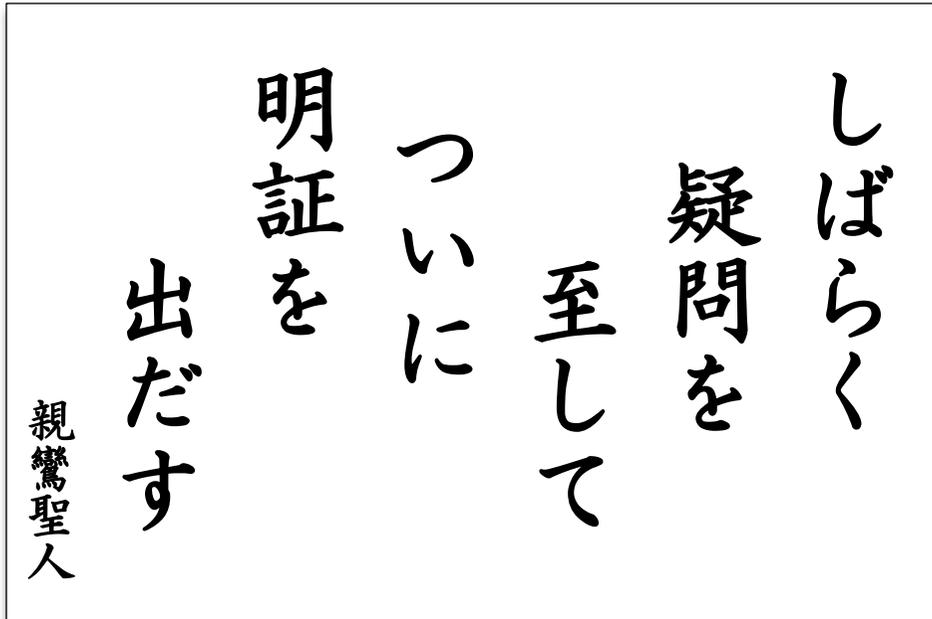


掲示板のことば



2022. 09

この言葉は、じょうどしんしゅう しゅうそ しんらんしやうにん しゅちよ 浄土真宗の宗祖・親鸞聖人の主著『けんじやうどしんじつきやうぎやうしやうもんるい 顕浄土真実教行証文類きやうぎやうしんしやう (教行信証)』の「別序」と言われる文章にある言葉です。

私は、この言葉から「問い」を持つことの大切さを教えられています。

例えば、テレビを観ていてわからない言葉を聞いたとき、記録しておいて、後で調べてその意味が分かったときは嬉しいですね。でも、分かって嬉しいと思えることは、その前に「分からない」ということがあったからです。分からないということを流してしまったら、嬉しいと思うことはありません。流さず、分からないことを抱え、問うことが、分かったという喜びを感じるには必要なのです。

私たちは日々を生きてると、分からないことがたくさんあります。早く知りたい、スッキリしたいと思うこともあるでしょう。でも、しばらく問いを抱えていると、あるときハッと答えが見つかる、そのような経験はありませんか？

私が出会った真宗の先生で、坂東性純という先生がいらっしゃいました。坂東先生は「人をつまず躓かせるものは、往々にして立ち上がらせるものと同一なのです。ですから、その問いを大切にいたしましょう。自分を悩ませている問題しか、自分を立ち上がらせる御縁はない」とおっしゃっていました。

私たちは皆、問いを抱えて生きていますよね。でもその問いが、私を動かす原動力になり、救いにもなるのかもしれない。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹